

美術

教科の目標	美術科では、『学びあい』を取り入れた授業の充実と、表現及び鑑賞など幅広い活動を通して、ひとりひとりの良さや可能性を伸ばし、よりよい社会をつくる未来を担う創り手となるために必要な資質・能力を育て、自ら考えて課題にたち向かっていける人間の育成を目指します。 また、指導方法の工夫と視聴覚機器の活用を積極的に取り入れることで、美術が大好きになる授業に心がけ、生徒ひとりひとりがより意欲的に学び、表現することの楽しさや喜びを体験しながら生涯にわたって生活を豊にしていくなことができるよう基礎となる力を身につけ、多様性への理解や主体性、問題解決能力および「生きる力」の育成を目指します。
-------	--

1 学年の目標	① 楽しく美術の諸活動に取り組み、美術を愛好する心情を養い、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を育てる。 ② 対象を深く観察する力、感性や想像力を高め豊に発想し構想する能力や基礎的スキルを身に付ける。 ③ 自然や美術作品などについて基礎的な理解や見方を広げ、よさや美しさなどを感じ取る鑑賞の能力を育てる。
2 学年・ 3 学年の目標	① 主体的に美術の諸活動に取り組み、美術を愛好する心情を養い、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を育てる。 ② 対象を深く見つめる力、感性や想像力を一層高め、独創的・総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し、構想する能力や自分の表現方法を創意工夫し創造的に表現する能力を伸ばす。 ③ 自然、美術作品や文化遺産などについて理解や見方を深め、心豊に生きることと美術のかかわりに関心を持ち、よさや美しさなどを味わう鑑賞の能力を高める。

評価規準

評価の観点	評価規準	方 法
① 主体的に学習に取り組む態度	目標をもち主体的に創造活動に取り組む意欲や態度を評価します。また、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど、自ら調整しながら主体的に学ぼうとしているかを A B C の 3 段階で評価します。	* 授業中の活動に取り組む様子や態度 * 友達の創作活動や作品から制作意図などを感じ取るうとする態度 * 制作態度や片付けの様子や態度。 * 提出物(ポートフォリオ)や事前準備など * 計画的な表現活動、制作の様子、態度。
② 思考・判断・表現	制作活動を通じて創造的に表現する力や美しさ、話し合いの活動を通して感性や造形経験を豊かにし、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力を身に付けているかを A B C の 3 段階で評価します。	* 授業中の活動に取り組む様子や態度 * アイディアスケッチや提出物。 * 感性を働かせ、友達や参考作品から感じとったことを基に豊かに発想しようとする発想力や構成力、態度。
③ 知識・技能	学習過程を通して知識および技能の習得の状況について評価するとともに、他の学習や生活の場面でも活用したり出来る程度に習得しているかを A B C の 3 段階で評価します。	* 制作活動や表現活動からの読み取り。 * 自分の表現意図にあった表現技法や材料の選択の様子、態度。 * 作品鑑賞・制作カード(振り返り) * 他の作品からよさや美しさを感じ取り、自分の作品に生かそうとする態度。 * 作品の説明やプレゼンテーションの様子、態度。

「教育に関する 3 つの達成目標」との関連

規律ある態度に重点をおき、表現活動や作品完成後の鑑賞活動まで粘り強く取り組む姿勢を重

【観点別評価の算出方法】

評価は題材ごとの観点と評価規準に合わせて A～C を出します。 [A=3 点・B=2 点・C=1 点]

【評定】 ※授業では課題ごとに明確な評価基準(観点)を生徒に提示しています。

5 (十分満足のうち高いレベル) [9 点] AAA

4 (十分満足と判断されるもの) [8 点] AAB

3 (おおむね満足と判断される) [7~5 点] ABB BBB BBC ACC

2 (努力を要すると判断される) [4 点] BCC

1 (一層の努力を要するもの) [3 点] CCC

※進路用評定や学年評定では観点別評価の合計と異なる場合があります。

(例)1 学期 ABA **4**、2 学期 BBA **3**、の場合→進路用評定は **BBA 3** の場合もあれば **ABA 4** の場合もあります。つまり 5 に近い **4** と 4 に近い **3** の場合は、進路用評定は **4** になるという事です。

※1.2.3年共に課題は状況や授業カットなどの関係を見て変更の可能性あります(GIGAを使ったデジタル作品制作など)

年間の学習計画 第1学年

	学習内容	学習のねらい
一 期	○ 色の学習 ○ 色の学習と自然物の構成	・ 色の学習と「色の効果」を学びます。 ・ 自然物のも色や形の美しさを発見し、さらに形の単純化を通して、美しい形を追求します。
二 期	○ 愛着の持てる工芸(唯一無二のペン)	・ 生活を美しく豊にするためのデザインおよび立体造形美追求を追求します。
三 期	○ サンドアート(またはデジタル課題) ○ 絵画基礎	・ 他者と協力しながら共同で美しい映像作品を制作します。 ・ 対象を見つめる力、基本的な表現方法、道具の使い方を学びます。

<学習の評価>※第1学年では、子どもたちを伸ばすために、次のような視点で評価します。

- ・ 各題材や授業での「学習のねらい」を分かりやすいものにします。
- ・ 学習への関心や態度を重視し「自ら学ぶ意欲」を育てます。
- ・ 活動や作品づくりなど授業での「学びの過程」を見守り見届けます。
- ・ 作品など学習の成果を「総括して評価する」ことを題材ごとに行います。
- ・ 学習したことを「自己評価や相互に評価する」ことがしっかりとできるようにします。

年間の学習計画 第2学年

	学習内容	学習のねらい
一 期	○ 工愛着の持てる装飾品 (飾れるコロコロローラー)	・ 素材を生かして愛着の持てる装飾品を制作します。
二 期	○ 名画鑑賞 ○ 絵画(向日葵を描く) ○ サンドアート(またはデジタル課題)	・ 名画鑑賞後、作者の表現方法や絵画制作を通して体験します。 ・ 他者と協力しながら共同で美しい映像作品を制作します。
三 期	○ デザイン(抽象表現)	・ 左右対称形など、抽象的で美しい形を探し表現します。

<学習の評価>※第2学年では、子どもたちを伸ばすために、次のような視点で評価します。

- ・各題材や授業での「学習のねらい」を分かりやすいものにします。
- ・学習への関心や態度を重視し「自ら学ぶ意欲」を育てます。
- ・活動や作品づくりなど授業での「学びの過程」を見守り見届けます。
- ・作品など学習の成果を「総括して評価する」ことを題材ごとに行います。
- ・学習したことを「自己評価や相互に評価する」ことがしっかりとできるようにします。

年間の学習計画 第3学年

	学習内容	学習のねらい
一 期	○ 木炭デッサン	木炭を使って自分見つめ直し、自画像を描きます。
二 期	○ サンドアート(くま またはデジタル課題) ○ 篆刻	・ 他者と協力しながら共同で美しい映像作品を制作します。 ・ 卒業記念の印の文字やデザインを考え、構想を深く練り、計画的に制作します。 ・ 完成した印を捺印します (卒業記念制作)
三 期	○ 水墨画	・ 三年間の集大成として今後の自分に向けて水墨画を描きます。朱墨で描く竹と墨汁で描く文字のバランスが大切です。

<学習の評価>※第3学年では、子どもたちを伸ばすために、次のような視点で評価します。

- ・各題材や授業での「学習のねらい」を分かりやすいものにします。
- ・学習への関心や態度を重視し「自ら学ぶ意欲」を育てます。
- ・活動や作品づくりなど授業での「学びの過程」を見守り見届けます。
- ・作品など学習の成果を「総括して評価する」ことを題材ごとに行います。